



作成日：2014年 1月 30日
最新改訂日：2020年 6月 1日

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名 : デオマルチT
 販売会社名 : 竹中産業株式会社
 住所 : 〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町1丁目5-5
 担当部門 : 開発部
 電話番号 : 03-3256-2355
 FAX番号 : 03-3254-8270
 受付日時 : 月曜日～金曜日(祝祭日除く) 9:00～17:30
 整理番号 : SDT-208 消臭剤

2. 危険物有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性
 引火性液体 : 区分外
 健康に対する有害性
 急性毒性(経口) : 区分外
 急性毒性(経皮) : 区分外
 急性毒性(吸入) : 区分外
 皮膚腐食性・刺激性 : 分類できない
 眼に対する損傷・眼刺激性 : 分類できない
 呼吸器感作性 : 分類できない
 皮膚感作性 : 分類できない
 生殖細胞変異原性 : 分類できない
 発がん性 : 分類できない
 生殖毒性 : 分類できない
 特定標的臓器・全身毒性(単回暴露) : 分類できない
 特定標的臓器・全身毒性(反復暴露) : 分類できない
 吸引性呼吸有害性 : 分類できない
 環境に対する有害性
 水生環境急性毒性 : 区分外
 水生環境慢性毒性 : 区分外

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル : なし
 注意喚起語 : なし
 危険有害性情報 : 特記すべき危険有害性はない。

注意書き

【安全対策(予防策)】

- ・ご使用前にSDSをお読みください。
- ・保護手袋、保護メガネ等を着用すること。
- ・取り扱い後は十分に手洗いをすること。

【応急措置(対応)】

【保管(貯蔵)】

- ・換気のある冷暗所(又は指定の場所)に密栓して保管すること。

【廃棄】

- ・残余内容物/容器などは産業廃棄物として適正に廃棄すること。

3. 組成および成分情報

化学物質・混合物の区分 : 混合物

一般名 : 消臭剤
 成分および含有量 : 特記すべき危険有害成分は含有していない。

4. 応急処置

吸入した場合 : 被災者を直ちに空気の新鮮な場所に移し、頭を低くして横向きに寝かせ、身体の保温に努める。
 被災者が意識を失っている場合には、口中の異物を取り除く。
 被災者の呼吸が止まった場合は、速やかに人工呼吸を行う。
 応急処置を施した後、必要に応じて医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合 : 石けんで充分洗浄後、清浄な水で洗い流す。
 必要に応じて医師の診断を受ける。

目に入った場合 : 直ちに清浄な水で15分以上洗眼した後、速やかに眼科医の診断を受ける。
 コンタクトレンズを使用している場合は、固着していない限り取り除いて洗浄する。

飲み込んだ場合 : 口をすすぎ、コップ1～2杯の水又は牛乳を飲ませて希釈する。
 無理に吐かせてはいけない。
 被災者に意識がない場合には、口から何を与えてもいけないし、吐かせようとしてもいけない。
 応急措置を施した後、必要に応じて医師の診断を受ける。

5. 火災時の措置

本品は有害ガスなどを発生しない不燃物のため、特に規制するものではない。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、
 保護具および緊急時措置
 環境に対する注意事項 : 作業の際、吸入や皮膚に触れないよう、適切な保護具を着用し、換気を良くして処理する。
 : 環境有害性は低く特に規制するものではないが、流出した製品が河川などに排出されないように留意する。

封じ込めおよび浄化の方法
 及び機材 : 少量の場合には、乾燥砂、土、おがくず、ウエスなどに吸収させて密閉できる金属容器などに回収して適切に処理する
 多量の場合には、盛土で囲って流失を防止し、安全な場所に導いてから適切に処理する。

二次災害の防止策 : 特に規制するものではない。

7. 取扱いおよび保管上の注意

取扱い
 技術的対策 : 作業中は皮膚へ触れないように適切な保護具を着用して作業を行う。
 局所排気・全体排気 : 換気の良い場所で取り扱うこと。
 注意事項 : 取扱い後は十分に手洗いをする。

保管
 保管条件 : 適切な換気のある乾燥した冷暗所（又は指定の場所）に密栓して保管する。

8. 曝露防止および保護措置

設備対策 : 取扱いの際は、全体換気を行う。

保護具
 呼吸器の保護具 : 特になし。
 手の保護具 : 特になし。
 目の保護具 : 特になし。
 皮膚および身体の保護具 : 特になし。

9. 物理的および化学的性質

外観

形状	: 液体
色	: 無色~黄色 (色調差有り)
臭い	: 特有の香気
pH	: 6.1 (実測値)
融点・凝固点	: データなし
沸点・初溜点および沸騰範囲	: データなし
引火点	: なし
燃焼又は爆発範囲の上限・下限	: なし
蒸気圧	: データなし
密度	: 1.03 g / c m ³ (20℃) (実測値)
溶解度	: 水に可溶、油に不溶
自然発火温度	: データなし

1 0. 安定性および反応性

安定性	: 通常の条件下では安定で、自己重合性はない。
反応性	: 通常の条件下では反応性はなし。
危険物有害反応可能性	: 特記すべき反応性はなし。
避けるべき条件	: 日光、高温
混触危険物質	: 特記すべき物質はなし。
危険有害な分解生成物	: 自己分解により有毒ガスを発生することはない。

1 1. 有害性情報

製品 (混合物) の情報 (GHS分類) は、別表の通り。

1 2. 環境影響情報

水性環境有害性 (急性)	: 区分外
水性環境有害性 (長期間)	: 区分外
生体毒性	: 混合物としての知見なし。
残留性・分解性	: 混合物としての知見なし。
生体蓄積性	: 混合物としての知見なし。
土壤中の移動性	: 混合物としての知見なし。
オゾン層への有害性	: 混合物としての知見なし。

1 3. 廃棄上の注意

残余廃棄物	: 産業廃棄物として処理する場合は、許可を受けた処理業者に委託する。
汚染容器及び放送	: 内容物を完全に除いた後処分する。処理は法規の規定に従って行う。

1 4. 輸送上の注意

国内法規制	
陸上輸送	: 消防法、労働安全衛生法などに定められている運送方法に従う。
海上輸送	: 船舶安全法、港則法などに定められている輸送方法に従う。
航空輸送	: 航空法などに定められている輸送方法に従う。
輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策	: 容器を転倒、落下など粗暴な取り扱いをしない。
国際規制	
国連分類	: 該当しない。
国連輸送名	: 該当しない。
国連番号	: 該当しない。
容器等級	: 該当しない。
海洋汚染物質	: 該当しない。

1 5. 適用法令

労働安全衛生法	: 該当しない。
消防法	: 非危険物
船舶安全法	: 該当しない。
水質汚濁防止法	: 生活環境項目（法第二条第二項第二号の政令で定める項目） 亜鉛含有量、生物化学的酸素要求量及び化学的酸素要求量
大気汚染防止法	: 有害大気汚染物質 亜鉛およびその化合物

16. その他の情報

引用文献

- 1) 産業衛生学会誌（2015年度版）
- 2) Threshold Limit Values and Biological Exposure Indices（ACGIH）2012年度版
- 3) 香料のGHS対応の手引き（改訂第2版）日本香料工業会
- 4) 独立行政法人 製品評価技術基盤機構（NITE）GHS 分類結果
- 5) 香料の表示指針（2016年版）日本香料工業会
- 6) IFRA-IOFI Labeling Manual 2013

記載内容の取扱い

記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、含有量、物理化学的性質、危険・有害性についてはいかなる保証をなすものではありません。また、法令の改正および新しい知見に基づいて改訂されることがあります。本製品安全データシートは、本製品の通常の手配を対象としており、安全な取扱いを確保するための参考情報としまして、取扱う事業者には提供されるものです。取扱う事業者は、これを参考に自らの責任において、個々の取扱いなどの実態に応じた適切な処置を講ずることが必要であることを理解した上で、活用されるようお願い致します。

【別表】

製品（混合物）および主要成分の有害性情報、環境影響情報（GHS分類）

有害性項目	製品(混合物) GHS 分類結果	有害性を有する成分の GHS 分類		
急性毒性（経口）	区分外			
急性毒性（経皮）	区分外			
急性毒性（吸入）	区分外			
皮膚腐食性及び刺激性	分類できない			
眼に対する重篤な損傷又は眼刺激性	分類できない			
呼吸器感作性	分類できない			
皮膚感作性	分類できない			
生殖細胞変異原性	分類できない			
発がん性	分類できない			
生殖毒性	分類できない			
特定標的臓器・全身毒性（単回ばく露）	分類できない			
特定標的臓器・全身毒性（反復ばく露）	分類できない			
吸引性呼吸器有害性	分類できない			
水性環境有害性（急性）	区分外			
水性環境有害性（長期間）	区分外			